

令和3年度 第1回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

- 日 時：令和3年6月21日（月）午後1時30分～2時40分
- 場 所：本庁北庁舎3階 第六会議室
- 出 席：（敬称略）
（委 員）（7名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、
小西 信生、成瀬 こずえ
（事務局）（3名）田中 啓信、桑田 浩、塚原 二郎

- 欠 席：（敬称略）
（委 員）（1名）内山 雄太

■議 事

※開会にあたり今年度の異動で着任した田中課長のあいさつと、委員の自己紹介を行った。

1 報告

- (1) 令和2年度 第8回検討調整会議事録
⇒確認のうえ了承。
- (2) 各部会の開催状況について
 - ・環境学習部会は、5月は中止、6月はこの検討調整会の後に開催する。
 - ・水と緑のネットワーク部会は、休み。
 - ・広報部会は、センター日より38号の初稿まで作業を進めている。

2. 議事

- (1) かんきょう塾2021について

今年度のかんきょう塾は全6回の開催を予定している。広報の募集は各回で広報へ掲載している。このため、広報誌上では単独の講座となっているが、講座の開催時は連続した講座であることを案内する。第1回（武蔵台緑地の保全と自然）の申込者は8名あった。受講者が安定しないこと、人数が少ないことから、今年のグループ研究はできそうになく、従って、12月のグループ発表は難しい。これに代わるプログラムを考えるなどの対応策が必要である。第1回の講座でグループ研究の希望がない場合は、その後の活動時間を確保することが難しいので、その場合はグループ発表をやめ、早めに講演会などに切り替えた方がよい。この場合、これまでにコロナ禍のため開催できなかった表氏の講演会を開催するようにできないか。このところ地球温暖化の世界情勢が刻々と変化しているため、まとめるのが難しいところもあるという。しかし、現状

の紹介など温暖化問題のヒントの提示だけでも十分有益な講座となるといった意見があった。12月の最終回は、この講座と閉会式を行う方向で準備を進めていくこととし、環境学習部会でこの詳細について検討を行い次回に報告することとした。

(2) その他のイベントについて

令和3年度 府中市環境保全活動センター事業の一覧表を参照しながら、確認を行った。かんきょう塾2021は5回まで講師、日時、会場など主な内容が決まっている。打ち水についてはオリンピック関連で打ち水を開催する予定なので、こちらと重複しないように打ち水のイベント自体は開催せず、昨年と同様の打ち水相談所を開設し市民の方々に各所で打ち水を行ってもらおう。これまでの大勢で行う形から小規模なグループで密にならない形で実施することで打ち水の風習を継続していきたい。夏休み親子かんきょう塾は、小平市にある東京ガスのガスミュージアムへ、路線バスを使い実施する予定である。また、森キッズについては浅間山公園で行えないか都立公園と交渉・検討中である。エコ・クッキングは、給食センターがコロナ対策のため講師、会場などの協力は得られそうもないということで、かなり難しい状況である。年明けの特別公開講演会については、第2庁舎会議室は取っているが講師は未定である。さらに、親子かんきょう塾体験教室の内容はまだ何も決まっていない。

コロナ禍での活動センターのイベントなどの開催基準のようなものがあると、その都度決めるのではなく、その時点での国の措置、緊急事態やまん延防止などに合わせて決めると、スムーズに対応できるのではないかと。国が出す緊急事態やまん延防止などは細かな対応策がその時点の状況に合わせて変化しているため、市の方でガイドライン的なものを決めることができない。しかし、センター独自の基準として作ることは問題ないと思われる。この話は次回に継続する。また、公開講演会の話も次回にしたい。

3 その他

(1) 活動センターの行先について

昨年、検討していた活動センターのあり方に関係する移転先の進展については、保健センターの話もなくなり、引続き探しているがかなり難しい状況である。現在、環境審議会が開催され、その中で活動センターの役割が重要視されているが、このような役割を果たすためにも場所を確保する必要があるとアピールすることが重要である。世界的な流れか

ら周辺自治体なども環境に重点を置いているところが多く、府中市ももっと環境に重点を置くべきである。

■次回開催予定日

令和3年度 第2回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算 123回)

日 時：令和3年7月26日（月） 午後1時00分～

場 所：北庁舎3階 第5会議室